

人口減少社会において「選ばれるまち」をつくる

市政運営の基本方針

若い世代に選ばれる、個性が光るまちをつくる



高橋靖 水戸市長

少子化に伴う人口減少という危機を乗り越え、都市を持続的に発展させていくためには、若い世代が魅力を感じる多様な働く場を創出するとともに、生き生きと活躍できる場をつくり、定住人口の増加とまちの活力の向上につなげていくことが重要です。

その思いから、私は、水戸市第7次総合計画「みと魁・Nextプラン」に、「若い世代の移住・定住加速プロジェクト」を位置付け、創業・スタートアップ支援をはじめ、企業誘致の推進、中小企業の成長支援を推し進めるとともに、楽しみながら暮らすことのできる水戸の魅力を経営的に発信していくシティプロモーションの充実に重点的に取り組んでいます。そして、これらの取組はもちろん、あらゆる分野の施策を「移住・定住の促進」「定住人口の増加」という大きな目的につなげていきたいと考えています。

本市の大きな強みは、多様な働く場をはじめ

め、医療・福祉や教育、子育て支援、救急体制等の充実といった安全・安心な暮らしを支える基盤が整っていること、さらには、自然や歴史、芸術文化、スポーツなど、暮らしに活力を与える魅力ある地域資源にも恵まれていることといった、都市の総合力にあります。この強みを最大限に生かして、移住・定住を強力に促進してまいります。

さらに、活力ある地域経済は安心を感じられる暮らしを支える基盤であることから、市民、事業者、そして、行政も共に稼げるまちへの転換を目指していきたいと考えています。公共施設や歴史的資産を有効活用して民間の活力を呼び込み、収益力を高めていくことはもとより、確保した財源を市民サービス向上や将来の発展へと還元していく好循環を生み出してまいります。加えて、民間事業者が地域資源をビジネスチャンスに生かすことのできる環境を整えていくため、規制緩和やデジ

タル技術の活用、民間連携など、多様なアプローチにより、民間事業者が創造性を存分に発揮できる環境をつくってまいります。私は、これまで十分に生かし切れずにいた本市のポテンシャルを引き出し、他地域との明確な差別化を図るなど、本市の個性を光らせていくことにより、多くの方から選ばれるまちとし、誰もが住みたい、ずっと住み続けたいと感じられる水戸を実現してまいります。

市民が安心を感じられる、人生百年時代のまちづくり

人生百年時代において、安心を感じながら暮らしていくためには、若者から高齢者まで全ての市民が、元気に活躍し、生き生きと楽しみながら暮らすという各々のライフプランを描けるまちであることが重要です。そのためには、日々の暮らしの中で感じる確かな安心を総合的につくり上げ、その質を高めていかなければなりません。

そうしたことから、私は、安全で安心なまちづくりの土台となる防災・減災に重点的に取り組んでいます。想定されるあらゆる災害リスクに対応するため、防災倉庫の設置や備蓄物資・資機材の拡充に取り組むとともに、今年度には、避難所となる小・中学校の屋内運動場への空調設備の設置とトイレの洋式化を推進し、3年間で完了させてまいります。

あわせて、市民の防災意識を醸成し、地域が一体となって災害に備えるため、毎年実施している水戸市いっせいで防災訓練をはじめ、地域の自主防災組織と連携した防災訓練等に取り組んでまいります。

また、まちを豊かにするデジタル化の推進として、多様な分野の施策をデジタル技術で

支え、行政手続における利便性を向上させるとともに、AIを効果的に活用していくことで、市民サービスの向上と業務効率化を図り、利便性と安心を実感できるDXを進めてまいります。

超高齢社会が進む中、市民の心と身体の健康づくりも安心につながっていくものです。そのため、医療、介護、生活支援・介護予防、住まいが一体となって提供される地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を推進するとともに、高齢者の外出や社会参加の機会確保等に向け、新たな移動支援施策の具現化を進め、住み慣れた地域で自分らしい生活ができる環境づくりに取り組んでまいります。

「みとっこ未来プロジェクト」についても更に加速させ、4月から新たに、第2子の保育料の無償化を実現するとともに、これまで実施してきた小・中学校給食費の無償を継続し、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ってまいります。また、特色ある教育を行う小規模特認校について、通学費の支給、学校徴収金の無償化など、就学支援に取り組むとともに、教育内容を充実させながら活性化を図り、多様な学びの選択肢を提供してまいります。

これらの施策の展開により、どの年代であつてもライフプランをしっかりと描くことができ、安心を実感できるまちをつくってまいります。あわせて、水戸で暮らすからこそ得ることができる価値を市内外にわかりやすく情報発信してまいります。

進行する人口減少への強い危機感を最大のエネルギーとして、既成概念を打ち破りながら、本市ならではの個性とまちの魅力を磨き上げ、将来都市像「こども育む ぐらし楽しむ みにらいに躍動する 魁のまち・水戸」の実現に向け、全力で取り組んでまいります。

これからのまちづくりの基本方針の概要と、その実現に向けた令和8年度の予算、主な事業などについて紹介します。
問合せ▼基本方針については政策企画課(☎232・9104) 予算については財政課(☎232・9131)

令和8年度

水戸市の予算



予算総額

2,166億5,180万円

(前年度比1.6%増)

- 一般会計 1,308億1,400万円 (前年度比2.6%増)
- 特別会計 541億4,070万円 (前年度比0.1%増)
- 公営企業会計 316億9,710万円 (前年度比0.1%増)

で、多くの方から選ばれるまちの実現を目指し、本市の強みである都市の総合力を更に高めていくため、医療・福祉や教育、救急体制の充実、防災・減災対策の強化など、安全・安心な暮らしを支える基盤整備を着実に推進することとしました。

〈市の会計〉

一般会計…教育や福祉などの市民サービスのほか、公共施設の維持管理や、道路等の生活基盤の整備など、市の基本的な行政運営の経費を経理します。

特別会計、公営企業会計…特定の事業を行うために、目的別に会計を設け、個別に経理して受益と負担の関係を明らかにしています。

各会計の予算と前年度との比較

(単位:千円、%)

会計	令和8年度	令和7年度	増減額	増減率
一般会計	130,814,000	127,561,000	3,253,000	2.6
特別会計	54,140,700	54,096,900	43,800	0.1
国民健康保険会計	21,540,000	22,020,000	△480,000	△2.2
公設地方卸売市場事業会計	1,027,000	1,022,000	5,000	0.5
駐車場事業会計	195,700	185,000	10,700	5.8
東前第二土地区画整理事業会計	169,000	173,000	△4,000	△2.3
公共用地先行取得事業会計	17,000	46,200	△29,200	△63.2
介護保険会計	26,014,000	25,834,000	180,000	0.7
介護サービス事業会計	—	78,700	△78,700	皆減
後期高齢者医療会計	5,156,000	4,693,000	463,000	9.9
母子父子寡婦福祉資金会計	22,000	45,000	△23,000	△51.1
公営企業会計	31,697,100	31,672,300	24,800	0.1
水道事業会計	11,126,100	11,189,200	△63,100	△0.6
下水道事業会計	20,571,000	20,483,100	87,900	0.4
合計	216,651,800	213,330,200	3,321,600	1.6

令和8年度当初予算 主な事業

一般会計の歳入・歳出

消防部門

- 新** 南消防署城東出張所移転改築事業 6,630万円
解体工事、基本・実施設計など
- 消防団第12分団詰所改築事業 8,480万円
改築工事など
- 消防機械力整備事業 7,500万円
資機材搬送車・高規格救急自動車などの更新

水道部門

- 水道施設災害対策事業 14億9,226万円
配水管路や施設の災害対策の推進
- 老朽施設更新事業 10億9,764万6千円

下水道部門

- 管渠建設改良事業 23億4,400万円
幹線・枝線工事
- 処理場建設改良事業 20億2,820万円

物価高騰対策

(令和8年1月補正予算)

- 新** 水道料金減免事業 3億7,000万円
水道料金の基本料金2か月分の免除問合せ▶経理課(☎231-4114)
- 新** 市民税非課税世帯等くらしサポート給付金事業 4億6,100万円
住民税所得割が非課税の世帯へ1人あたり8,000円の給付
※詳細は、15ページ
問合せ▶市民税非課税世帯等くらしサポート給付金コールセンター(☎0120-319-693)
- 新** 物価高騰対応プレミアム商品券発行事業 4億9,000万円
プレミアム率50%の商品券の発行問合せ▶商工課(☎232-9185)

予算に関する
詳細は、こちら⇒



産業経済部門

- 拡** 創業支援事業 2,130万円
創業準備期に加え、創業後の事業展開などの支援を強化
- 拡** 企業立地促進事業 1億5,130万円
既存物件を活用したオフィス開設の支援を新たに実施
- 新** まちなか店舗等開設促進事業 1,200万円
まちなかの既存物件を活用した出店を支援
- 福** プロジェクト推進事業 260万円
わらぢの持続的な生産に向けた取組を支援

都市建設部門

- 雨水排水施設整備事業 11億3,350万円
排水路・都市下水路・調整池などの整備
- 国補街路整備事業 3億2,400万円
都市計画道路の整備(2路線)
- 水戸駅前三の丸地区市街地再開発事業 8億5,072万8千円
- 内原駅周辺地区整備事業 5億1,260万円

教育部門

- 新** 小規模特認校活性化事業 2,375万5千円
就学しやすい環境づくりの推進と教育活動の更なる充実
- 小・中学校給食費の無償の継続** 13億1,091万4千円
- 小・中学校長寿化改良事業** 3億2,330万円
妻里小学校・緑岡小学校の工事、赤塚中学校の実施設計など



こども部門

- 新** 本庁舎キッズスペースの設置 100万円
- 小・中学校新入生応援金の支給 1億3,700万円
- 拡** 放課後学級運営の充実 6億5,914万3千円
待機児童ゼロの継続のため、学級を増設
- 新** 5歳児健康診査の実施 2,484万3千円
- 新** 第2子の保育料の無償化 3億3,908万4千円
第1子の年齢や世帯年収にかかわらず、第2子の保育料を無償化
- 新** 民間保育施設の改築支援 2億7,634万2千円

保健医療部門

- 新** 小児オンライン医療相談・オンライン診療事業 1,365万5千円
スマホなどを利用して医療相談や診療を受けられるサービスを実施
- 新** 大腸がん検診推進事業 441万4千円
自己負担金のワンコイン化などを実施
- 新** 妊婦へのRSウイルス感染症予防接種事業 5,301万円

新…新規事業 拡…拡充事業

企画総務部門

- 拡** シェアサイクル事業「みとちやり」 2,976万8千円
元吉田・下市地区などにエリアを拡大
- 新** LINEを活用した市民サービスの拡充 690万円
- 新** 子育て世帯向けプロモーション動画制作 200万円



市民協働部門

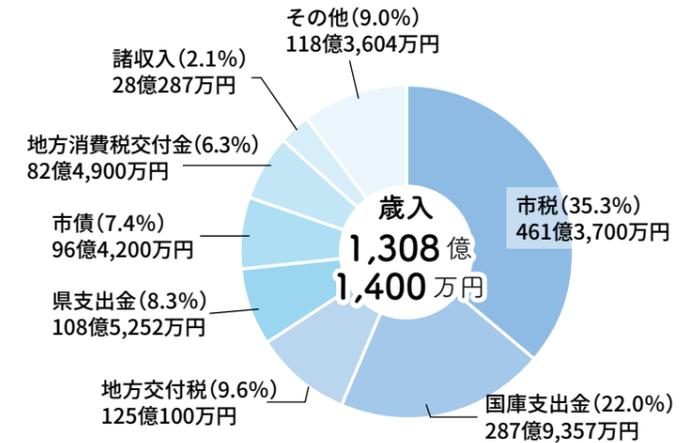
- 市民センター長寿命化改修事業 1億3,460万円
城東市民センターの工事など
- 五軒市民センター改築事業 2億2,320万円
解体工事、基本・実施設計
- 新** アナハイム市国際親善姉妹都市締結50周年記念事業 614万4千円

生活環境部門

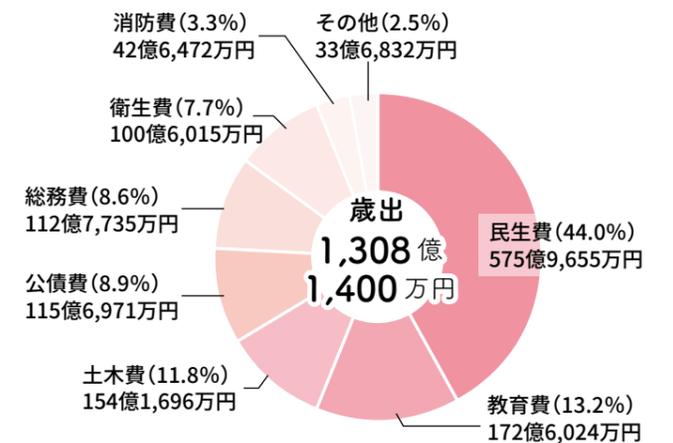
- 拡** みとゼロカーボン未来住宅パッケージ 2,600万円
住宅用蓄電システム設置補助金の補助件数を拡大
- 旧清掃事務所等施設の解体工事 5億6,430万円

福祉部門

- 新** 重層的支援体制整備事業 3,481万4千円
既存の相談支援などの取組を生かしつつ、新たな機能を加えた重層的支援を実施
- 新** 民間養護老人ホームの整備支援 2億8,160万円



- 市税** 市民税(個人・法人)や固定資産税など
- 国庫支出金** 特定の事業に対する国からの負担金や補助金など
- 地方交付税** 一定水準の行政サービスを提供できるように、国から配分される交付金
- 県支出金** 特定の事業に対する県からの負担金や補助金など
- 市債** 国や銀行などからの借入金
- 地方消費税交付金** 地方消費税を財源として、人口などに応じて配分される交付金
- 諸収入** 休日夜間緊急診療収入や清掃工場の売電収入など、ほかの歳入科目に該当しない収入
- その他** 分担金及び負担金、使用料及び手数料など



- 民生費** 社会保障費や福祉施設の整備運営などの経費
- 教育費** 小・中学校の整備運営や、生涯学習、スポーツ振興などの経費
- 土木費** 道路、公園、市営住宅などの整備や維持管理経費
- 公債費** 公共施設の整備などの財源として借入れた市債の返済経費
- 総務費** 市の行政運営、市民センター、防災対策、収税、選挙などの経費
- 衛生費** 保健所の運営、健康診査や予防接種、ごみの収集・処理などの経費
- 消防費** 消火や救急などの経費
- その他** 議会費、労働費、農林水産業費、商工費など